



あさの しゅういち  
浅野 修一 議員

## 防災減災対策

# 飲料水兼用耐震性貯水槽を 早期の整備は考えていない

**問** 佐賀地域には、浸水想定区域が多く、佐賀西公園、東公園付近に飲料水兼用耐震性貯水槽を設置すべきではないか。

**答** 村越情報防災課長  
飲料水は一人3リットルで、1日分ということで十分と考えるが。

**問** 飲料水は一人3リットルで、1日分ということが、この備蓄量で十分と考えるか。



飲料水兼用耐震性貯水槽（入野小学校西側）

52万円で設置した。  
佐賀西公園、東公園にも浸水区域外の箇所があり設置可能かと思うが、耐震性貯水槽は、水の循環が必要で、設置場所の十分な検討が必要となる。

また、飲料水の備蓄方針を、1日あたり一人3リットルとし、全町民1日分を避難所等に分散して備蓄。併せて浄水器を26カ所に配備している。

その他の防災対策事業等との優先順位を比べた時、次年度以降の早期の整備は考えていない。

**問** 26カ所に配備の净水器で浄化する水は、どこから取水するのか。  
また、濁り水でも大丈夫ということか。

**答** 村越情報防災課長  
川、プールなどの色々な水のほか、この浄水器は海水対応なので海水も飲料水との想定をしている。

**答** 秋森産業推進室長  
入野海岸と浮鞭海岸の浜の清掃は、年2回の実施で、今年度は4月22日に実施し、11月19日にも予定している。

引き続き、海岸管理者の県に撤去の要望をして、担当部署と協議を行っていく。



入野海岸（9月9日）



鞭海岸（9月9日）

**問** 重機による早期の対応はできないのか。  
**答** 秋森産業推進室長  
海岸は県管理  
町単独は困難

**問** 7月初旬、海岸線に漂着した流木やプラスチックゴミ等が、いままだにそのままとなつており、県外客からは「ゴミが多くて残念」との声を聞くが、町の予算に見合った適切な対策が必要と考えるが、町の考えは。

**問** 重機による早期の対応はできないのか。  
**答** 秋森産業推進室長  
海岸清掃用機器の導入には、2500万程度の予算が想定される。  
入野海岸の管理者は高知県でもあり、町単独では困難だと考える。